公営住宅の維持管理に係る中長期的活用方策に資する総合的検討調査

発注者	国土交通省住宅局
工期	2015年

現在、更新時期を迎えている築後30年以上の大量の公営住宅ストックを有する各地方公共団体では、厳しい財政状況下において、効率的かつ円滑な修繕、維持管理を行い、中長期的な視点での公営住宅の需要に的確に対応することが、喫緊の課題となっている。

特に、公営住宅ストックを適切に維持管理して長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を実現するためには、ストックに関する情報を適切に管理することや、中長期的な維持管理・修繕・更新の計画の作成が求められる。

このため、本業務では、公営住宅の維持管理のあり方や中長期的な活用方策に係る以下の検討を行った。

○公営住宅の維持管理に必要な点検マニュアル等の整備
○公営住宅の管理等情報のデータベース化に資する検討
○公営住宅の維持管理のあり方に係る検討
○公営住宅等長寿命化計画の改訂に必要となる事項の整理
○公営住宅等長寿命化計画策定指針の改訂に向けた検討
○公営住宅の中長期的な維持管理・更新費用の推計手法の検討

©ICHIURA HOUSING & PLANNING